



学校教育目標 進んで学ぶ子 仲良くできる子 たくましい子
児童数 男子489名 女子461名 計950名

㊦っかりと聞き・㊦くわく未来を語り・㊦すんで学び・㊦れにも仲良くできる しわすだっ子



ほ ほ せいふうお
歩歩 清風起る

～ しわすだに吹いた爽やかな風 ～

校長 石井 宏明

「大貫に行けなかったけど、友達によさや協力することのよさに気づけ、たくさん成長した。」
「仲間との『協力』と『思いやり』がとても増えたと思います。」
「自分から行動し、言われる前にできるようになったり、一つの事に集中することができた。」
「キャンドルのあの景色は、一人では見ることはできない、よい思い出です。」
「班長をやってきて、『責任感』や『自信』など、積極的な気持ちをつけることができました。」
「友だちのよさと命の大切さを学び、みんなで協力したり、『仲間っていいな』と思いました。」
「休み時間に集まることが多く、嫌になることもあったけど、今日みんなが楽しんでくれて、やってきてよかったと思いました。すごく大変だったけど、あきらめないで努力する力がついたので、成長できたと思います。」
「一つ一つのことに『責任』を感じながら行動し、周りの人のこともよく考え、気づかひのできる6年生になりたい。」

「大貫ウィーク」と称し、2月8日～19日までの2週間、取り組んだ5年生の感想の一部です。

11月の滝澤副学園長さんによる大貫プレゼンや体育館でのキャンドル、今月に予定している宝登山のハイキングと併せ、子供たちに付けたい力や体験させたいことを、学年担当が創意工夫し、子供たちにとってよい取組を創り出してくれただけでなく、子供たちが自らの成長を実感していることに、校長として、とてもうれしく思います。(子供たちも先生方もよくがんばったね)

一つ一つの前向きな教育活動が、子供たちにとってどれだけ有意義なものであるか、改めて教員と子供たちに教えられた気がいたします。

ゴールに辿り着かせるだけが教育ではなく、その過程にも大きな意味があるのですね。

確かに、高い山の頂上を目指して一步一步登り、ようやく登りきることができたとき、爽やかな風が吹き渡るのを全身で感じるができます。そして、それが山登りの醍醐味でもあります。

苦労して登った分だけ、吹く風も心地よく感じられるものです。

しかしながら、その山に登っている一步一步の歩みの最中にも、風は吹いています。

ですから、ただ頂上を目指して耐えて登るだけでなく、その途中途中であっても、心地よい風を感じることはできるはずですよ。

一步一步に爽やかな風を感じながら、楽しさや喜びを味わいながら登っていくこともできるのです。また、ときには立ち止まったり、ふり返ったりしながら周りの景色も味わうこともできます。

その一步一步の歩み自体もまた、かけがえのないものだと考えます。

最上級生に向かって意識や態度、能力を伸ばしてきている5年生の取組も、今年だからこそできた取組だと、肯定的に捉えております。

感染症対策を講じながら進めてまいりましたこの1年。

今年度も残すところ20日(6年生は18日)となってしまいましたが、日々の学校生活の一步一步の歩みに爽やかな風を起こしてあげられる教育活動を創っていきたくて考えております。

*表題：横田南嶺 円覚寺派管長

*表題左のイラストは「SKY 擬人化(卒業 ver.)」【作絵 鈴木ひかり(6年3組)さん】

「SKY(卒業 ver.)」【電子化デザイン 野澤央実 教諭】です。